

家に帰りたくない男たち。

Ben Gazzara, Peter Falk, John Cassavetes

HUSBANDS

Written and Directed by John Cassavetes



ハズバンドス

STAFF★Written and Directed by John Cassavetes Produced by Al Rubin Associate Producer: Sam Shaw Director of Photography: Victor J. Kemper Director of Editing: Peter Tannen Art Director: Rene D'Auriac Production Manager: Robert S. Shinn
CAST★ Ben Gazzara Peter Falk John Cassavetes Jenny Lee Wright Noelle Kao Jenny Runacre Meta Shaw David Rovinsky

Distributed by Bitters End URL <http://www.bitters.co.jp/>

CASSAVETES 2000

『ハズバンド』では男たちの感情や行動、彼らが人生に屈しないで生きる様子を描いた。
 …ぼくは観客と一緒に旅に連れて行きたいんだ。ぼくらを悩ませる全てのしがらみを断ち切り、
 何のモラルにも縛られることのない旅にね。——『ジョン・カサヴェテスは語る』より



中年男たちが家に帰りたくなる時。

ハリー (ベン・ギャザラ) は広告デザイナー、アーチャー (ピーター・フォーク) は新聞記者、ガス (ジョン・カサヴェテス) は歯科医。ニューヨーク郊外で生まれ育った40代の仲間たち。家庭もあり、世間的にも認められた男三人。突然もう一人の仲間が死んでしまった。無縁だと思っていた“死”が身近に迫り、男たちは心の中に何か膨らんでくるのを感じる。それは、日常に埋もれてしまった“生きていることの証”を求める焦燥感。どうすればそれが得られるのか、誰にもわからない。わかっているのは家に帰りたくない、一緒にしようということだけ。そして三人の眠らない旅が始まる。バーで大酒を飲み、飲み、ゲームをする。パスポートだけ持って雨のロンドンに降り立ち、キャンブルに興じ、恋に心臓がせる。全てから開放された、長くて短い三日三晩の放蕩で、彼らはそれぞれに答えを見つけ歩む道を選ぶ。

40代、思いがけず人生の岐路に立ち、突如、無責任でいられた頃のように、気のむくままに過ごす男たちの様子を、時にコミカルに、時にほろ苦く描いたパティム・ウィー。伝説のおやじたちが遂にスクリーンに初登場!!

男同士が最高だ!

そしてギャザラ、フォークとカサヴェテスのコラボレーションが始まった。

自作家で男前のハリーを演じるのは「ハッパフォード'66」のベン・ギャザラ。不器用なくせにおせっかいなアーチャーに、「ベルリン・天使の詩」やTVシリーズ「刑事コロンボ」でお馴染みのピーター・フォーク。チビでクールなガスが、本作の監督を務めるジョン・カサヴェテス。仲間を失った欠落感を共有し、改めて自分自身に向き合おうとする男たちをこの三人が種々として演じる。ギャザラとフォーク。現在でも第一線で活躍するこの名優二人は、カサヴェテスと一緒に仕事をしたいと切望していた人間だった。信頼関係を築くために、三人で一年以上かけて脚本を練り上げ、撮影に挑んだ。作品中に真の感情を求めるカサヴェテスと、それに応え自らをさらけ出す二人。映画を削り上げるのと同様に、三人の友情が生まれた。それはまるでジャズの即興演奏のように絶妙に呼応し、作品中の三人組により強い絆を与えている。以降、この二人はカサヴェテス作品の“顔”として出演し続けることになる。

キャスト:ベン・ギャザラ、ピーター・フォーク、ジョン・カサヴェテス、ジュニー・リー・ライト、ノエル・カオ、ジェニー・ラナカー、メタ・ショウ
 スタッフ:監督:ジョン・カサヴェテス、製作:アル・ルバーン、製作補:サム・ショウ、撮影監督:ウィクター・J・ケンパー、編集監修:ピーター・ターナー、美術監督:レネ・ドリアック、製作主任:ロバート・グリーンハット 1970年/アメリカ/カラー/130分/ワスタ/コロンビア映画=フェイスズ・ミュージック/配給:ピタース・エンド

いつまでも終わらせたくなかった映画。

作品を完成させるとすぐに次の企画に取り掛かるカサヴェテスだったが、本作だけは違った。彼は封切りを待つ間に小説化し(未発表)、プロモーションのためにギャザラとフォークを連れ、トーク・ショー・ツアーに回った。それはまるで、ハリー、アーチャーとガスの馬鹿騒ぎの旅を再現するかのようだった。カサヴェテスはこの映画を終わらせたくなかったのだから、カサヴェテスは「ラヴ・ストリームス」を完成させた後にさえ、『ハズバンド』が彼の作品中、一番興味深い作品だと語っている。

監督ジョン・カサヴェテスが描き続けた“感情-エモーション”。

“ハリウッド黄金期”が終わろうとしていたアメリカ映画界に、新たな可能性をもたらした映画作家ジョン・カサヴェテス。ハリウッドのスタジオ・システムに早々に見切りをつけ、彼はどこにも属することなく、自分の撮りたいものだけを映画にした。それは賞味期限付きの作り物の娯楽ではなく、いつまでも色褪せることのない、ありのままの人間の姿と、脈打つ本物の感情だった。そして観る者に、喜び、驚き、悲痛、怒り、そして空虚な時間に至るまで、そこに生まれる瞬間を共有させ、劇中に溢れる“愛”と“力”と“冒険”でその心を捉え、決して離さない、多くの映画人が、今尚敬愛する伝説の映画作家たる所以である。



Ben Gazzara, Peter Falk, John Cassavetes

HUSBANDS

Written and Directed by John Cassavetes

カサヴェテス特集上映 ◎CASSAVETES 2000◎

A.ハズバンド B.ミニー&モスコウィッツ C.グロリア

4月29日(土)~5月5日(金) 11:20=C/1:40=A/4:05=B/6:15=A

5月6日(土)~5月19日(金) 11:15=A/1:40=B/3:50=A/6:15=B

カサヴェテス監督作品
『愛の奇跡』
 5月6日(土)~19日(金)
 逢日PM8:20(由)

『グロリア』
 ジーナ・ローランズ演じるクールでタフでやさしい女、グロリアと家族を殺され、人生を壊った黒い少年との追跡行。80ヴェネチア映画祭金獅子賞、主演女優賞受賞。

●前売特別鑑賞券=1400円(当日一般=1700円)各回完全入替制●
 劇場窓口にて前売り券をお買い求めの方にポストカードプレゼント!(枚数限有)

★カサヴェテス公開記念イベント★
 4月22日 京都みなみ会館 (カサヴェテス・オールナイト)
 4月28日 クラブダウン (フリーダムタイム)



ホワイティ梅田泉の広場M-10右とがる東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
 06-6361-0088 www.oms.gr.jp